

製糸工程における燃料費の節減について

千久水社企画課長 工 藤 和 雄

製糸業界における燃料費が生産費に占める割合は、他の産業に比べて非常に高く、特に最近の原油高騰による重油の値上がりがはげしく、現場においてはいかに燃料費を安くするかが最大の課題となっております。

そこで今回、私共が日頃現場において行なわれ考えられている燃料費節減の問題点について、種々検討してみたいと思います。

まず燃料費を節減するためには大きく分けて、次の三点が考えられます。

- Ⅰ 蒸気単価の低減
- Ⅱ 各工程における蒸気の節減
- Ⅲ 排出熱の回収

以下それぞれについて考えてみたいと思います。

- Ⅰ 蒸気単価の低減
 - イ. ボイラー効率の向上
 - ロ. 低価格燃料（雑燃料）への転換
- Ⅱ 各工程における蒸気の節減
 - イ. 乾 燥 機
 - 熱効率の良い機種すなわち熱風への改造
 - ドレーンの完全回収
 - ロ. 煮 繭
 - 排水の完全利用
 - ハ. 繰 糸
 - 乾糸パイプの最適利用
 - 索緒部において温度の低下をさせない対策
 - 給繭機給湯の量の検討
 - 繰解部の給湯量
 - ニ. 再 繰
 - 温度制御のための制御機器
 - 高速揚返機と低速揚返機の蒸気使用量
 - ホ. 副 蚕
 - ビス機の温度制御
 - 蛹の脱水の検討
 - 蛹または副蚕物の乾燥機の温度制御
 - ヘ. 工程以外の蒸気使用量の減少
 - 暖房、風呂、炊事等についての検討
- Ⅲ 排出熱の回収

- イ．ボイラー関係における場合
- ロ．全工場の排水中の熱回収

以上の問題につきまして、山田先生、機械メーカーならびに各工場のそれぞれの担当者にご指導賜りましたことを感謝申し上げます。